

さよなら 13mパラボラアンテナ

放送衛星実験用(BS)、通信衛星実験用(CS)パラボラアンテナの撤去

1975年(昭和50年)から様々な衛星通信実験等をおこない社会に大きく貢献した特徴的な13mパラボラアンテナ(右写真)を平成27年度内に撤去することになりました。
(7~10月頃撤去予定)

写真、左側上部が放送衛星実験用(BS)のパラボラアンテナ

写真、右側上部が通信衛星実験用(CS)のパラボラアンテナ



2008年撮影

●13mパラボラアンテナを利用した代表的な実験など

1975年

13mパラボラアンテナ実験施設完成

1978年

CS、BS管制及び衛星通信実験開始

今では当たり前のように見ているCS及びBS放送(衛星通信放送)のための基礎実験を数年にわたり行い衛星通信発展に貢献した。

2000年

日米高速衛星通信実験

数か月に渡り米国航空宇宙局(NASA)が中心となり米国研究機関とNICT(鹿島)等の中で高速大容量のデータ衛星通信実験を行い、従来では3分かかっていた情報を10秒で伝送を可能とするなどの成果を残した。

2002年

日韓ワールドカップに貢献

ワールドカップの映像等を高速大容量データ通信としてリアルタイム国際衛星通信中継をした。

2011年

東日本大震災により破損し以後休止状態。



1975-1980年頃撮影



2014年撮影